

TOMOGAKUだより 2018年5月号 Vol.160



ジャガータウン教室 守口市佐太東町2-9-10 ジャガースタート3階 TEL: 06-6905-3913
寺方高瀬教室 守口市南寺方北通1-3-3 TEL: 06-6997-1559
菊水教室 守口市菊水通2-19-1-205 TEL: 06-6995-1235

新たな出会いを

みなさんが新しい学年をスタートさせてからもう2ヵ月が過ぎようとしています。新入学の生徒さんは、着慣れない制服を着こなせるまでになってきたり、通い慣れない道だったのがどんどん近道を覚えたりなど、新しい生活にも慣れてきたのではないでしょうか。

5月はさまざまな学校行事があります。小学校では遠足、中学校では宿泊学習や修学旅行など、新しい学校の新しいメンバーと出会い、その距離を縮めるための良い機会にしてほしいものです。

また、中学生や高校生は中間テストがあります。今から準備をしていってください。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
4/29 昭和の日	30 振替休日	5/1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 子どもの日
6	7	8	9	10	11	12
13 五ツ木テスト 駿々堂テスト	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29 調整休講日	30 調整休講日	31 調整休講日	6/1 調整休講日	2

【小・中学部共通】

5月 3日(木)~6日(日)・・・GW休講日

5月29日(火)~6月1日(金)・・・調整休講日(英会話を除く)

【小学部のみ】

5月13日(日)・・・五ツ木・駿々堂テスト会(小6中受クラスのみ)

【中学部のみ】

5月13日(日)・・・五ツ木の高校入試模擬テスト会(中3希望者のみ)

5月に入り中間テスト対策授業が始まります。13日(日)、20日(日)は中学校の日程等により、休日補講を実施する可能性があります。各教室の詳細が決まり次第、担当から各クラスへお伝えいたします。

※5月の調整休講日・・・前月号でもお知らせいたしましたが、2学期以降は中学生の生徒さんだけでなく、スタッフもお休みがとりづらくなっています。
よって1学期は休みを多めに設定しております。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

★定期テスト対策(中学生)★

友学園では、年間5回の定期テストのタイミングでテスト対策授業を行っています。ここでは、保護者の方々や、新入生の皆さんに定期テスト対策を知っていただくため、いくつかご紹介いたします。

●何をするの?●

クラスに所属している中学校ごとのテスト範囲に合わせて、定期テスト実施日の2週間前から、その内容を集中して学習していきます。学校のノート、プリント、ワーク類も含めて、出題範囲の情報をみなさんから集め、テスト対策授業に反映していきます。テストで結果を出すことを第一に考え、効果の期待できる学習を心がけて実施していきます。クラスに在籍している数が少ない中学校でも同様に行っています。テスト日程直前の日曜日には、日曜対策授業も行うのが慣例となっています。

●ノウハウを学んでください●

中1生に対しては“手取り足取り”的表現がぴったりくるほど“学習のいろは”から教えていきます。年度途中に入学してくる中学生たちがよく話す「勉強の仕方が分からない」という状況に陥らないように、テスト前の学習の仕方を学んでいってもらいます。テストの2週間前から始まり、テスト直前に何をしていくのかまで、1年生のうちから指導を受けることで、テスト勉強のノウハウを早めに身につけて中学校生活をスムーズなものにしていってください。

●うれしい経験をする●

テスト対策授業は普段の授業よりもしんどい場面が多々あります。暗記にしても、解法を理解するにしても、普段以上の量を普段以上の精度で仕上げていかねばなりません。そこで、音を上げる生徒も出てきます。ただ、学年が上がって中3生になると、引き締まった表情で淡々とやるべきことをこなしてくれます。学習姿勢の長けた生徒は、これまでに積んできたうれしい経験がモチベーションを育ってくれているのです。しっかりととした結果を出すことは、達成感だけではなく、自信を育ってくれます。「うれしいはしんどいに勝つ」ことができます。中学校生活の早い段階でうれしい経験をしていくことが大切になります。

●自立へ向けて

中1生のテスト対策授業と中3生のそれとは内容が異なります。ノウハウを学び、しんどい経験をし、うれしい思いも悔しい思いもしてきた中3生たちは、もう自分で動くことができます。テスト範囲を自分で理解し、テスト日程を意識し、弱点と課題を知ったうえで講師と協力しあい、結果を出す最短ルートへ自らを導きます。友学園は学習を通じての自立を応援しています。中学生のうちに友学園で成功のメソッドを学び、高校ではそれをヒントにより大きく発展していくようにと考えています。成功の経験は成し遂げた生徒の貴重な財産となっていきます。